

# 勤務制度・配属・研修制度等

## 初任給

(令和5年4月1日現在)

試験名		金額
大学卒程度		195,300円
短大・高校卒程度		161,700円
資格免許職	薬剤師	220,700円
	管理栄養士	201,500円
	保健師	222,700円
	司書	175,700円
市町村立小中学校等事務職員 大学卒程度		195,300円
市町村立小中学校等事務職員 短大・高校卒程度		161,700円

職歴や学歴など、採用前の経歴に応じて一定の基準により加算される場合もあります。

## 各種手当

通勤、住居、扶養、特殊勤務、時間外勤務などの諸手当が該当者に毎月支給されます。期末・勤勉手当は、年2回(6、12月)支給されます。(合計4.40月分)(令和5年4月1日現在)

## 勤務時間

月曜日から金曜日の8:30~17:15まで(完全週休二日制)  
※研究職の場合は、フレックスタイム制度が利用できる場合があります。  
※特殊な勤務形態でも、4週間のうち、概ね8日間の休みとなるようになっています。

## 休暇制度

- 年次休暇年間20日(4月採用者は15日)
- 病欠休暇、特別休暇(結婚、出産、夏季、ボランティアなど)、介護休暇、育児休業等

## 配属・異動

### 県職員

**配属** 新規採用の県職員は、事務系の場合、本庁、現地機関へおおむね半数ずつ、技術系の場合、約1割が本庁、約9割が現地機関に配属されています。

**異動** 原則として、最初の部署で2~3年を経た後、本庁に配属されていた者は現地機関へ、現地機関に配属されていた者は本庁へ異動します。その後は、本人の適性や希望(勤務地等)も考慮され、2~3年を目途に異動するケースが多くなっています。

### 警察行政・警察事務

**配属** 警察学校(約1か月間)卒業後、それぞれの任地で勤務につきます。

**異動** 本人の適性や希望(勤務地等)、昇任等により異動します。組織全体の定期異動は原則年2回です。異動の頻度は職員により異なります。

### 市町村立小中学校等事務職員

**配属** 市町村立小中学校等に配属されます。

**異動** 原則として、最初に配属された学校で3年を経た後、2校目に異動します。その後は、本人の希望や生活の本拠地も考慮され、5年以内で異動します。

## 研修制度

### 県職員

採用後、1年以内に法令等の基本的な科目に重点を置いた10日程度の新規採用研修を受講します。その後は、昇任時等定期的に職務遂行に必要な研修を受講します。そのほか、職員がスキルアップを図るため各種研修の中から選択して受講できる選択研修があります。

### 【階層別研修】

各階層への昇任時(新規採用時を含む。)に実施する研修です。

### 新規採用研修

各所属に配属後、公務員倫理や文書の作成・法令・職場マナー等の基本的な研修を職員研修所にて実施します。また、実地体験型研修として、災害時や緊急時における実践的な対応方法などを習得するとともに、非常事態に備えた公務員としての心構えや行動のあり方等を学ぶため「消防学校入校体験研修」を実施します。

**【選択研修】** 職務に必要な知識と能力開発を職員自らが選択して計画的に身に付けてスキルアップを図る研修です。

**【派遣研修】** 国、大学院、海外等へ派遣研修もっており、職務の遂行に必要な知識、技能及び教養を修得します。

▶令和4年度の主な派遣先…内閣府、総務省、財務省、外務省、経済産業省、京都大学大学院

### 警察行政・警察事務

採用と同時に警察学校に入校し、全寮制で実施する採用時教養を受けます。

### 採用時教養

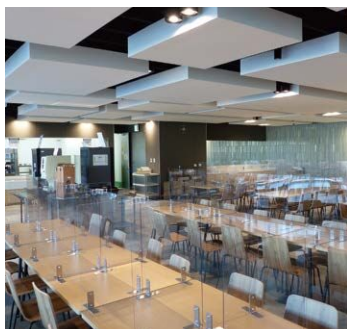
警察学校に約1か月間入校し、職務執行に必要な基礎知識(一般教養、実務教養)について研修を受けます。

### 市町村立小中学校等事務職員

県教育委員会及び配属された市町村の教育委員会が行う研修を受けます。

## 福利厚生(施設)等

県庁内には、食堂、売店、職員診療所などが設置されています。また、職員の子どもなどを対象とした県庁内保育所「ぎぶっこ保育園」も設置されています。



県庁2階 食堂



県庁1階 売店



県庁8階 職員診療所



ぎぶっこ保育園

## 採用試験に関する

## Q & A

### Q 大学卒程度試験は、大学を卒業した人しか受験できないのですか？

A 「大学卒程度」とは“試験問題の程度が大学卒程度である”という意味であり、大学を卒業（見込みを含む。）した人しか受験できないということではありません。  
また、「短大・高校卒程度」の試験問題の程度は高等学校卒業程度であり、こちらも学歴は関係ありません。

### Q 受験するために特別な資格や免許は必要ですか？

A 各試験ごとの受験資格（生年月日等）を満たしていれば、その他に必要な資格や免許はありません。ただし、資格免許職については、それぞれの受験資格に定める期日までに必要な資格または免許を取得しないと、最終合格しても採用されません。

### Q 職種によって試験を行わない場合もありますか？

A 試験を実施する職種は年度によって異なります。業務量や退職者数などを総合的に判断して採用予定者数を決めているため毎年変動があります。

### Q 岐阜県職員の試験を併願することはできますか？

A それぞれの試験の受験資格を満たしており、試験日が重なっていなければ併願することができます。例えば、4月実施の大学卒程度試験と、6月実施の大学卒程度試験を併願することもできます。どちらの大学卒程度試験であっても、待遇面及び配属などに差はありません。  
なお、同一日に実施される試験は、複数区分を申し込むことはできません。

### Q 募集される職種や、採用予定人数など試験の詳しい内容はいつごろ公表されますか？

A 募集職種や採用予定人数、試験方法などについては、各試験の試験案内配布開始日に試験案内に掲載して公表します。なお、試験案内は岐阜県公式ホームページにも掲載します。

### Q 県外出身者や既卒者は採用試験で不利ですか？

A 出身地や学歴、性別などによる有利、不利はまったくありません。受験資格を満たしていれば、どなたでも受験することができますし、公平・公正に試験を実施しています。

### Q 最終合格者は全員採用されますか？

A 最終合格者は任用候補者名簿に登録され、その中から任命権者が採用者を決定します。採用者数は退職者の状況などを勘案して決定しますので、その状況によっては合格しても採用されない可能性もあります。ただし、最近では、辞退した場合や、資格免許職などで資格や免許が取得できなかった場合等を除いて、最終合格者全員が採用されています。

### Q 試験の成績を知ることはできますか？

A 各試験の受験者本人に限り、合格発表の日から1か月間、「各試験種目別の得点、結果」、「総合得点」、「総合順位」を岐阜県情報公開・行政相談窓口（県庁1階）において開示します。その際、個人番号カード等、写真で本人と確認できるものをご持参ください。なお、本人以外や電話でのお問い合わせには応じておりません。